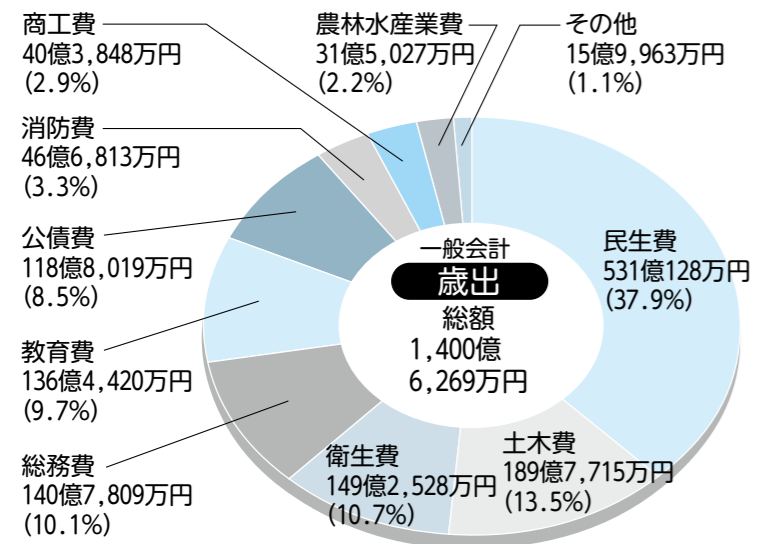
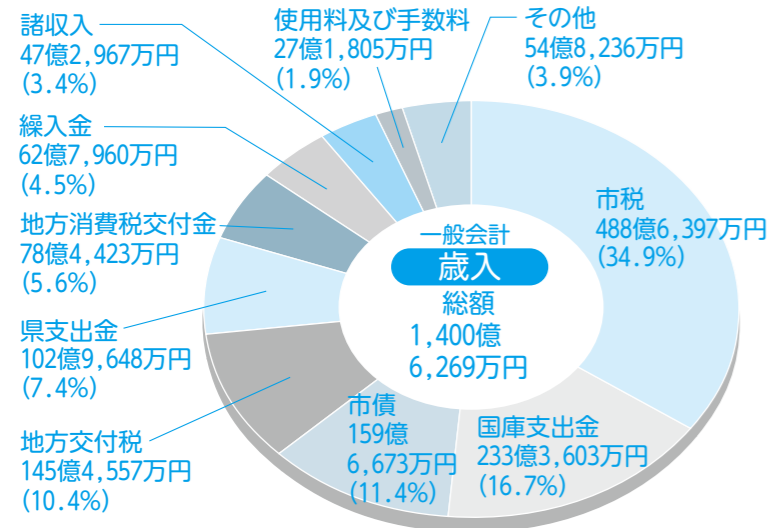


※表示単位未満を四捨五入しており、積み上げが合計と一致しない場合があります。  
 ※一般会計歳出予算額（性質別）の内訳は、市ホームページをご覧ください。



用語説明

- 歳入**
- 市税 市民や法人の皆さんが市に納めるお金
  - 国庫支出金 特定の目的のために国から交付されるお金
  - 市債 道路や学校の整備などを行うために借入るお金
  - 地方交付税 一定水準の行政サービスを提供するため、国から交付されるお金
  - 県支出金 特定の目的のために県から交付されるお金
  - 地方消費税交付金 県税である地方消費税のうち、市に交付されるお金
  - 繰入金 各種基金などから繰り入れるお金
  - 諸収入 市の預金利子や貸付金の元金収入など、他の歳入には含まれないお金

歳出

- 民生費 高齢者・障がい者・児童などの福祉、保育所の運営などに使われるお金
- 土木費 道路・住宅・公園の整備などに使われるお金
- 衛生費 各種検診や予防接種、ごみ処理などに使われるお金
- 総務費 市税、戸籍、選挙関係、その他一般的な管理事務に使われるお金
- 教育費 学校教育や文化・スポーツ振興などに使われるお金
- 公債費 借入金（市債）の返済に使われるお金
- 消防費 消防・水防・災害対策などに使われるお金
- 商工費 商工業や観光の振興などに使われるお金
- 農林水産業費 農林水産業の振興などに使われるお金

# 令和3年度の当初予算決まる

本年度の当初予算は、新たに策定した「市まちづくりの基本方針」の下、「誰もが『住んで良かった、住み続けたい』と思える魅力にあふれた『いわき』」の実現に向け、中期的な財政見通しに立ち、財政の健全性を保ちつつ、市民福祉の増進と将来世代への責任を同時に果たすことを基本的な考え方として、年度間の見通しに立った予算編成を行いました。

これまで、東日本大震災や令和元年東日本台風という未曾有の災害を経験し、今また新型コロナウイルス

感染症の危機に直面する中、これらの困難を乗り越えていく、しなやかな回復力や復元力を備えたまちづくりを進め、危機を乗り越え、共に創る「いわき新時代」の礎となるよう「魅力にあふれたふるさと・いわき創生予算」を編成しました。

お問い合わせ  
 財政課財政経営係  
 ☎22・7420

一般会計	1,400億6,269万円 (前年度比6.0%減)
特別会計	965億3,291万円 (前年度比7.3%増)
企業会計	621億2,204万円 (前年度比2.9%減)

国民健康保険事業	305億9,002万円
後期高齢者医療	41億3,647万円
介護保険	322億9,612万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1億2,920万円
土地区画整理事業	13億5,476万円
卸売市場事業	3億5,971万円
競輪事業	268億6,105万円
温泉給湯事業	5億3,808万円
財産区（6財産区）	2億6,752万円
水道事業	184億6,542万円
病院事業	256億7,511万円
下水道事業	173億3,269万円
地域汚水処理事業	1億6,483万円
農業集落排水事業	4億8,398万円

# 市議会2月定例会を開催

いわき市議会二月定例会が、二月十八日から三月十五日までの二十六日間の会期で開催されました。議会では、総額二千九百八十七億千七百六十四万円に上る本年度の当初予算などが審議され、七十議案が可決・承認・同意されました。

## 市長からの行政報告

○危機事象への対応状況について  
 二月十三日に発生した地



行政報告を行う清水市長

震では、人命第一の考えの下、被害状況の把握や応急対応などに努めるとともに、二月十五日から防災証明書等の申請受け付けを開始するなど、迅速に対応していることを報告しました。

また、新型コロナウイルス感染症について、四月以降に予定される高齢者などへのワクチン接種の円滑な実施に向けて、関係機関などと連携を図りながら準備を進めていくほか、飲食店の時短営業や不要不急の外出自粛により影響を受けた事業者を支援するため、市独自の緊急経済対策を講じると述べました。

○（仮称）磐城平城・城跡公園の整備について  
 整備に先立ち実施した埋蔵文化財の発掘調査で、幕末期の磐城平城本丸御殿の遺構が良好な状態で出土したことを報告しました。

磐城平城を本市の宝として適切に保存し将来に引き継ぐため、公園整備計画の



発掘作業が行われた磐城平城本丸御殿の遺構

大に取り組んでいることを報告しました。

次回大会については、中止となった三大会分の思いも込めてこれまで以上に魅力ある大会となるよう準備を進めていくと述べました。

○いわき市豊かな森づくり・木づかい条例の制定について  
 本市産木材等の利用促進に関する基本理念や施策などを定め、林業・木材産業の持続的かつ健全な発展による経済の活性化と、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に寄与することを目的として、同条例を制定しました。

## 補正予算の主な内容

- 令和2年度予算の最終的な整理など（一般会計＝△63億17万3千円、特別会計＝28億9,708万円、企業会計＝10億1,639万2千円）
- 令和2年度追加補正予算（国の補正予算などに対応した事業＝18億4,566万4千円）
- 令和3年度補正予算（国の補正予算などに対応した事業＝16億4,535万円）

## 主な議案

- いわき市医療センター施設整備応援基金条例の制定について
- 同センターの施設や設備の整備を市民の皆さんなどと共に推進し、安全・安心な医療の充実を図ることを目的に基金を設置するため、同条例を制定しました。
- 教育長任命の同意を求めることについて
- 水野達雄（新任）
- 田人財産区管理委員選任の同意を求めることについて
- 緑川英泰（新任）

## 第2期復興・創生期間における取り組み

### ○東日本大震災復興記憶集発行事業 130万8千円

東日本大震災の経験や教訓を今後の防災対策や災害発生時の対応に生かし、将来にわたる連携・協力の契機とすることを目的として、復旧・復興・創生に尽力された方々の記憶や思いを寄稿集として編集・発行します。

## 防災・減災・克災の着実な推進

### ○支所庁舎災害復旧事業 3億538万円

令和元年東日本台風で被災した小川支所庁舎などの災害復旧を行います。

### ○防災用通信機器等管理費 3,904万8千円

防災行政無線や防災メール、衛星携帯電話などの各種情報機器の運用管理を行います。また、令和元年東日本台風で被害を受けた地区への防災行政無線の設置に係る調査を行います。



災害情報などを伝える防災行政無線

## 新型コロナウイルス感染症対策

### ○新型コロナウイルス感染症予防対策費 4億5,382万5千円

P C R 検査や疫学調査などを実施します。

### ○感染症対策事業費補助金 8,050万円

私立保育所や放課後児童クラブなどの施設における衛生用品の整備や消毒作業などに要する経費を補助します。

### ○あんしんコロナお知らせシステム運用事業 8,479万8千円

新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、経済活動の回復を図るため「あんしんコロナお知らせシステム」を運用します。

### ○業態転換等支援補助金 2,500万円

事業継続を支援するため、国の生産性革命推進事業「持続化補助金」の交付決定を受けた事業者を経費の一部を補助します。

### ○コロナ後を見据えたワークシフト促進事業 1,085万3千円

副業者やフリーランス（\*3）が活動しやすい環境をつくるとともに、首都圏の副業者などと地域企業を結び付ける機会の創出を促進し、地域企業の生産性向上を図ります。



QRコードを活用したあんしんコロナお知らせシステム

## 公共施設等の老朽化対策

### ○美術館長寿命化事業 1億2,727万円

建物や設備の長寿命化を図るため、個別管理計画に基づき、屋上防水改修工事などを実施します。

## その他の主要事業

### ○放課後児童クラブ利用料助成費 3,660万7千円

生活に困窮する子育て世帯への経済的な支援を目的に、低所得者世帯に属する児童の利用料を助成します。

### ○教職員の働き方改革推進事業 3,914万3千円

教職員が児童・生徒と向き合う時間を確保するとともに、教育の質の向上を実現するため、教職員の働き方改革を推進します。



適切な遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブ

\*3 フリーランス 自由契約の記者・作家や無所属の俳優などの、特定の組織に属さず仕事をする人

## 魅力にあふれた「いわき」の実現のための新たなまちづくり

### 暮らしを守る安全・安心の充実強化

#### ○緊急水災害対策・排水施設整備事業 11億2,588万5千円

令和元年東日本台風で被害を受けた夏井川水系好間川に合流する金子沢と渋井川の排水施設整備を行います。

#### ○安心みちまち冠水対策事業 2億6,500万円

道路の冠水被害対策として、側溝断面の拡大や排水柵の改修などを行い、道路の排水機能の向上を図ります。

#### ○内郷消防署建設事業 9,024万4千円

老朽化が著しい内郷消防署を移転・改築し、災害時の活動拠点としての機能確保を図ります。

#### ○災害用トイレ整備事業 1,719万9千円

避難所などの生活環境の充実・強化を図るため、大型トイレカーを整備します。

### ひと・まち・しごとの充実強化

#### ○震災復興土地地区画整理事業地内宅地活用支援事業 1,600万円

市空き地バンクへの登録者や土地を取得し住宅を新築した方、仲介業者などへ補助を行い、震災復興土地地区画整理事業地内の地域コミュニティの維持・再生を推進します。

#### ○いわき産木材利用推進事業 1,485万6千円

本市産木材の利用拡大を図るため、住宅を新築した際などの支援やP R活動を実施します。

#### ○Society5.0（\*1）推進事業 757万5千円

市や地域のデジタル・トランスフォーメーション（\*2）などの推進により、地域課題を解決し、市民の皆さんが豊かに暮らすことのできる社会の構築を目指します。

#### ○常磐者（担い手）育成支援モデル事業 334万円

漁業・加工体験を通して知識や技術を学ぶとともに「おためし漁業体験プログラム」を実施し、漁業の担い手を育成します。

### 共創力の充実強化

#### ○デジタルミュージアム構築事業 200万円

市内の各文化施設の収蔵品や美術品、文化財を閲覧できるシステムの構築に向けた調査を行います。

#### ○LINEを活用した情報発信事業 154万円

市政を身近に感じてもらうとともに、非常時における情報発信のスピード化を図るため、LINEを活用し、市政情報や災害発生時の緊急情報などを効果的に発信します。

#### ○いわきの歴史・文化・伝統を生かした人材育成事業 102万9千円

本市の歴史や伝統、文化の魅力を「知る・学ぶ・体験する」機会を創出することで、郷土への愛着や誇りを育み、受け継いでいく人材を育成します。

\*1 Society5.0 新技術を社会に導入し、地域や年齢などの格差なく、さまざまなニーズに対応したモノやサービスを提供し、経済的発展と社会課題の解決を目指す超スマート社会

\*2 デジタル・トランスフォーメーション デジタル技術などの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変革していく概念



県の樋門設置と併せて排水施設整備を進める金子沢



木材市場での競り売り

令和3年度  
当初予算

魅力にあふれた  
いわき創生予算の  
主な取り組み